

ベトナムの電力事情

1. ベトナムの電力事業形態

ベトナムの電力事業は、ベトナム商工省の管轄のもと、国営電気事業者であるベトナム電力公社が発電・送電・配電一貫で行っている。

2. ベトナムの発電設備内訳

近年の相次ぐ大型火力発電所の運開を反映し、火力発電設備が約6割を占める。発電電力は、ほぼ全てをベトナム電力公社および独立発電事業者（IPP）の運営する発電設備に頼っている。

項目	ベトナム	日本	(参考：東京電力)
発電設備	1235.8 万 kW	27,553 万 kW	6,247 万 kW
水力	458.3 万 kW(37.1%)	4,737 万 kW(17%)	899 万 kW(14%)
火力	749.0 万 kW(60.6%)	17,634 万 kW(64%)	3,618 万 kW(58%)
原子力	-	4,947 万 kW(18%)	1,731 万 kW(28%)
その他	28.5 万 kW(2.3%)	235 万 kW(1%)	0.4 万 kW(0%)

(ベトナム・日本：2006 年度末、当社：2007 年度末)

3. ベトナムの電力需要

経済成長を反映して、最大需要、販売電力量は年々増加している。特に南部では海外企業の工場新設などで電力需要が急増しており、近い将来、電力不足に陥ることが懸念されている。

